

「人」と「まち」をつなぐ

# スズノ

Ebino city Public relations

広 報

11

2013  
NOV  
vol.565

## 田代自治会に 農林水産祭「天皇杯」



### 今月の掲載記事

ストップ不法投棄

CIVIC NEWS

予算の執行状況を公表

まちのわだい

Face 人 上江中新体操部

うまかもん「豚汁」

地域一丸となった取り組みが評価

# 田代自治会に 農林水産祭「天皇杯」

むらづくりの最高賞  
「天皇杯」を受賞

田代自治会が、「平成25年度第52回農林水産祭」のむらづくり部門で最高賞の天皇杯を受賞しました。住民総出での水路の保全活動の取り組みや伝統文化の継承、祭りなどを通じた世代間交流など集落の一体感と世代間の結びつきなどが、全国のむらづくり活動のモデルとして高い評価を得て、今回の受賞となりました。

宮崎県内のむらづくり部門での受賞は、昭和63年の諸塚村に次いで25年ぶり、2回目の受賞です。

農林水産祭むらづくり部門は、むらづくりの全国的な展開を助長し、地域ぐるみの連帯感の醸成とコミュニティ機能の強化を図り、農林漁業と農山漁村の健全な発展に資することを目的として開催されています。本年度は、492点から部門ごとに天皇杯や大臣賞などが選ばれました。各賞は、農産部門、園芸部門、畜産部門、蚕糸・地域特産部門、林産部門、水産部門、むらづくり部門の7部門に授賞されます。

表彰は、11月23日の勤労感謝の日に明治神宮会館で開催される農林水産祭式典で行われます。

## 稲作と畜産の盛んな田代地区

田代地区は、えびの市の南西辺縁部に位置し、地区内で管理する湧水を利

用した水稻栽培や天宮台地上部での野菜栽培、畜産業等が盛んな地区です。総世帯数は、124世帯、うち、44%の54戸が農業を営んでいます。

田代地区は、豊富な湧水を成り立ちの起源とすることから、古くから、住民の共通認識として、「水」に対する感謝の念が継承されています。そのため、「陣の池」などの保全、水車の建設などを行い、地域資源を守り続ける活動を行っています。

伝統芸能では、「天宮神社」に伝わる「打植祭」の若者への伝承など、郷土の伝統を守ろうという世代を超えた共通の価値観に基づく活動が行われています。

## 若者を中心とした さまざまな活動

田代地区では、地域の若者が団結し、結成した「田代ひまわりロードプロジェクト」の活動が、農業生産面・生活環境面の双方で、地区の活性化に大きく寄与しています。

活動は、「ひまわりロードまつり」の開催等による他地域との交流、「公民館だより」の発行による地区内への情報発信、合意形成への寄与、ソバ打ち大会の開催による地区内の連携などを行っています。このような活動は、各世代間、各組織間の潤滑油となり、地区の一体感の醸成に大きく寄与しています。



# 主な取り組み

## 田代ひまわりロードプロジェクト 地域活性化の起爆剤

田代ひまわりロードプロジェクトでは、地区内の農道や農業用施設へのひまわりの植栽を平成21年に行いました。平成22年からは、「ひまわりロードまつり」を開催し、30年ほど前に途絶えていた地区の夏祭りを復活させました。祭は、地区内はもちろん、地区外からも多くの来場者が訪れ、他地域との交流の大きなきっかけとなっています。また、同プロジェクトメンバーの結婚式をひまわり畑で行うなど新たな取り組みを行っています。

その他にも、公民館だよりの発行、ソバ打ち大会などを行い、地区内の連携、世代間の交流を図っています。

平成22年からは、ひまわりの種から食用油を搾油するなど地域資源の開発を行っています。



# 地域が一つとなる 取り組みの軌跡

田代地区は古くから、豊かな湧水を利用した水稲栽培が盛んに行われてきました。が、ほ場は区画も狭小で散在し、生産効率が良いものではありませんでした。そのため、平成4年度から市内の他地域に先駆け「中山間地域農村活性化総合整備事業」を取り入れ、農業生産基盤と生活環境基盤の整備を一体的に行いました。この事業により農業者間の結束は強まりましたが、保全管理活動などは農業者が行うべきものという考えが根深く残り、非農家との交流は、ほとんど行われない状況でした。

しかし、地区住民の心の中には、「農業従事者の高齢化の中、保全活動には、限界がある。このままではいけない」との思いが募っていました。

地区民同士が心の中で葛藤を続ける中、地区では、平成12年度、「中山間地域等直接支払制度」、平成19年度、「農地・水・環境保全向上対策」への取り組みが開始されました。

取り組みが始まった時は、非農家の参加を呼び掛けることは難しい状態でした。しかし、農業従事者が中心となり、地区内での施設管理の重要性等を

自治会活動などを通じて、地道に説明をした結果、「地区内の資源はすべて地区住民の宝である」との共通の認識を共有することができました。今では、農道や水路の整備、周辺隣地の草刈等、一人では困難な保全管理活動を地区民総出で行うようになりました。

これらの取り組みを契機に、農作業受委託組織として「田代農用地利用組合」が設立されました。この組合は、田代地区の農業の担い手として中心的な役割を担っています。

田代地区では、種々の努力によって、将来にわたり農業生産活動を維持するための体制整備が整いました。

同時に、これらの体制を基礎としながら、若手農業者を中心とした「田代ひまわりロードプロジェクト」が設立されました。現在、この組織には、地区へのU・J・ターン者や新規就農者を含む23人（年齢構成21・44才・うち女性6人）が所属しています。

今では、この組織の活動が、農業生産面・生活環境面の双方で、地域の活性化に大きく影響し、田代地区を引っ張る存在となっています。



## 地区のシンボル「手づくり水車」 水の恵みに感謝

田代地区では、古くから「水」に対する感謝の念は強く、「水を保全する意識」は、職業を問わず、地域に根付いていました。この「水」の恵みに感謝し、地域資源を住民全員の財産として目に見える形で表すため、地区のシンボルとして、平成24年に、地区内の水路沿いに水車の建設を行いました。

建設にあたっては、地区内の技術者からの指導を仰ぎながら、住民の手作りで完成させました。平成25年にはこの水力を利用した小水力発電による防犯灯の設置も計画しています。



## 受け継がれる打植祭 郷土芸能の保存

田代地区では、旧薩摩藩で見られた行事が現在でも数多く受け継がれています。中でも、五穀豊穡を祈願する祭りとして、田代地区の「天宮神社」と隣接する今西地区の「香取神社」と合同で行われる「打植祭」は、平成13年に宮崎県無形民俗文化財に指定されました。

少子高齢化により、伝統の継承が危惧されていましたが、「田代ひまわりロードプロジェクト」を仲介役として、高齢者クラブや子ども育成会など、関係団体が密接に協力関係を築き、甘酒、しめ縄づくり等の技能継承など、地域全体で、この祭りの伝承活動に取り組んでいます。

# 田代からえびのを発信 えびのを盛り上げたい

田代ひまわりロードプロジェクト 池田憲行 代表



**受**賞の話聞いた時、とても信じられませんでした。今では、いろいろなところで「田代の人やろ、おめでとう」と声をかけてもらえます。先輩たちが築き守ってきた「水」に対する感謝の気持ちを受け継ぎ、天宮神社や陣の池、用水路などを地域住民が一丸となって守ってきた取り組みが評価され、とてもうれしく思っています。この賞は、地区住民みんなで取った賞です。この受賞により、今まで以上に地区民の結束が強くなりました。農家・非農家に関わらず住民の人に

は、いろいろな取り組みに協力をもらい感謝しています。

特に、地区の若者には、30年ほど前に途絶えていた田代地区内の祭の復活やひまわりの植栽、ひまわりロード、公民館だよりの発行、ソバ打ち大会、打植祭でのしめ縄づくりや甘酒づくりなど積極的に協力してもらっています。地区内の連携、世代間の交流などに一役かっってもらっています。ありがたいことです。

が、田代に住みたい、田代に住んでよかったと思えるようなまちづくりと、他の地区からも田代地区は、すごく魅力的な地区だと思われるよう地区を越えた交流などを行いながら田代地区の魅力を発信していきたいと思っています。えびので一番の地区と言われるようになってからも、地区民一丸となってがんばっていきます。

## 住んで良かった、住みたい と思えるまちづくり

田代自治会 前原良一 会長

**私**たちは地区を盛り上げていきたいという気持ちだけで活動をしてきました。天皇杯の受賞聞いた時は、冗談だと思いました。受賞できたことはとても誇りに思います。田代ひまわりロードプロジェクトを立ち上げたきっかけは、自治会長の「若いもんだちで何かやってみらんか」という一言で始まった飲み会でした。私たちは、子どものころ、運動会や祭りなどを一生懸命に盛り上げてくれた親の背中を見て育ちました。同じような

活動をしたという気持ちをそれぞれ持っていました。踏み切れないでいました。自治会長の一言が私たちを動かしました。平成21年に『楽しい』と思ったことは、「すぐに」、「できることから」、「まずは」、「やってみる、でも」、「背伸びはしない」をモットーに「田代ひまわりロードプロジェクト」を立ち上げました。活動としては、農道や農業用施設へのひまわりの植栽、30年ほど前に途絶えていた夏祭りの復活などです。

祭では、地区のみんなに楽しんでもらっています。今では、毎月1回の「公民館だよりの発行、地区で生産されたそば粉や野菜を利用したソバ打ち大会なども行い、地区内の交流を図っています。これからは、天皇杯という賞の名に恥じないよう、背伸びはせず、自分たちでできることを自分たちの形で行っていききたいです。田代地区からえびのを発信し、えびのを盛り上げていきたいです。

# 田代公民館

## 世代間の交流の広がりや地区内の活動を活発化する原動力



全国の多くの地域で、さまざまな手法によるむらづくり活動が行われています。その多くは、単一世代や、ある一定の参加者がその信念に基づき牽引していく取り組みです。

それに対し、田代地区のむらづくりは、地区の若者が活動の中心になりながらも、世代間、組織間のパイプ役となり、これまで継続されている活動と新たな活動を融合した、いわば、むらづくりに新しい価値を創造する取り組みです。今や田代地区民の連携、世代間の交流の広がりなどは、地区内の諸活動が活発化する原動力となっています。

少子・高齢化による急激な人口減少、農業後継者の確保など、えびの市は多くの課題を抱えています。そうした中で、守るべき価値観を共有しながら、新たな発想を大切にし、地区を構成する年配者と若者、女性が、同じ距離感で活動に取り組んでいる田代地区のむらづくりは、えびの市の今後のまちづくりのモデルとなる取り組みです。田代自治会の受賞を機に、市内の自治会活動が活性化することが期待されます。

平成25年度敬老会での集合写真

# ストツプ不法投棄

あとを絶たない不法投棄

私たちのえびの市は、山や川に囲まれ、田畑が広がる、自然豊かな景観をたたえるまちです。しかし、その豊かな自然を逆手にとった悪質な不法投棄があつとを絶ちません。山間部などには、心無い人によって大量の生活ごみや大型家電などが捨てられています。平成24年度、えびの市内では216件の不法投棄が発見されました。このほかにも不法投棄ごみは、市内には数多く存在すると考えられます。

不法投棄は、犯罪です

不法投棄は、犯罪行為です。不法投棄をした場合は、法律により5年以下の懲役もしくは1000万円以下の罰金（法人は3億円以下）が科せられます。また、この両方が科せられる場合もあります。

しかし、このような厳しい罰則が科せられるにも関わらず、依然として市

内では、不法投棄が多数発見されています。

不法投棄監視ハトロール

不法投棄された場合、土地の所有者などは、自らの責任で不法投棄ごみを適正に処理しなければなりません。不法投棄ごみを適正に処理するには、膨大な労力と時間を要します。

市美化センターでは、不法投棄防止対策として、毎日、不法投棄監視ハトロールを行っています。また、不法投棄が多発する場所には、不法投棄防止啓発の看板を設置するなどしています。

不法投棄を防ぐためには、行政と地域が協力した取り組みが不可欠です。看板の設置や地域パトロールをするなどして、自分たちのまちをみんなの目で監視し、お互いに地域を守る取り組みをすることが大切です。

市民環境課（市美化センター）  
☎ 33・5782

## 不法投棄をなくすには！ 「しない」「させない」「許さない」の「3ない」

### しない

#### 意外と身近な不法投棄

不法投棄ごみは、ほとんどが、日常生活を営む上で発生した、空き缶・弁当から・生ごみ・衣類・布団などが多く、中には、テレビ・冷蔵庫・洗濯機といった、家電リサイクル法でリサイクルが義務付けられているものも捨てられています。

不法投棄ごみが発見される場所の多くは、人けや人目のない山間部や河川敷、空き地です。

また、道路沿いに飲み物容器やたばこの吸殻などをポイ捨てするなど、実は私たちの身近で不法投棄は行われています。草刈によって発生した刈り草をみだりに水路に流す行為も不法投棄です。

「きちんと捨てるのはめんどろだ」  
「自分一人ぐらいならいいだろう」  
「誰にも見つからなければ大丈夫」

などと軽い気持ちで捨てられたごみで、多くの人々が迷惑し、環境汚染を引き起こします。



### させない

#### みんなの監視体制

不法投棄を防ぐために最も効果的なのは「市民の皆さんの不法投棄をさせない監視の目」です。各自治会でも、環境美化推進員を配置し、不法投棄の監視等を行っています。

自分たちの住むまちを自分たちの手で守るために、監視・通報活動への市民の皆さんの協力をお願いします。



#### 自己防衛はしっかりと

不法投棄をさせないためには、土地の所有者自らが、不法投棄をさせないための対策をとることも、不法投棄防止の有効な手段の一つです。

管理の行き届いていない土地などは、不法投棄のされやすい現場となる傾向があります。

自分の土地を不法投棄から守るためには、「こまめな草刈り」、「柵や看板の設置」、「土地をきれいな状態に保つ」などの適切な管理が有効です。不法投棄がされにくい環境の整備をお願いします。

### 許さない

#### 不法投棄を見つけたら

不法投棄をしている者を発見した場合や不法投棄をした者が特定できそうな証拠を見つけた場合は、「日時」、「場所」、「投棄物の種類」、「投棄者の特徴」、「車両ナンバー」などわかる範囲で記録し、市美化センター（☎ 33-5782）または、えびの警察署（☎ 33-0110）へ通報してください。

不法投棄されたごみは現状のままにしてください。投棄者に接触することは危険ですので絶対に避けてください。



#### 地域で不法投棄の撲滅活動を

真幸地区運営協議会地域づくり部会は、ごみ処理問題を自治活動の中心課題に位置づけています。

部会では、「不法投棄監視中」のステッカーを作り、文書配布の日や地域一斉清掃の日など、そのステッカーを車にはり、不法投棄の監視活動を行っています。それでもなかなか不法投棄はなくなりません。

地域から不法投棄をなくし、私たちの住んでいる地域を今以上にきれいなまちにしようとして今後、不法投棄撲滅に向けた啓発を積極的に行い、市や学校と連携を取りながらさまざまな取り組みを行っています。



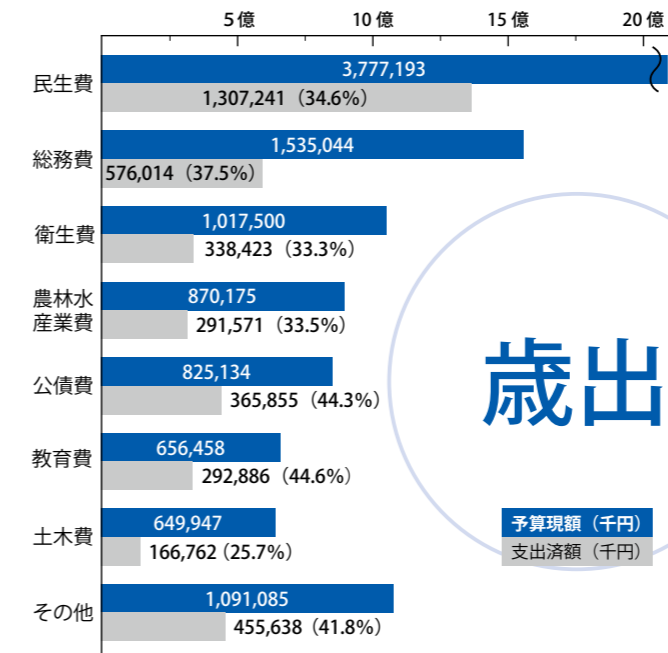
真幸地区運営協議会  
地域づくり部会会長  
若松秀一さん



# 一般会計

## 予算の執行状況を公表します

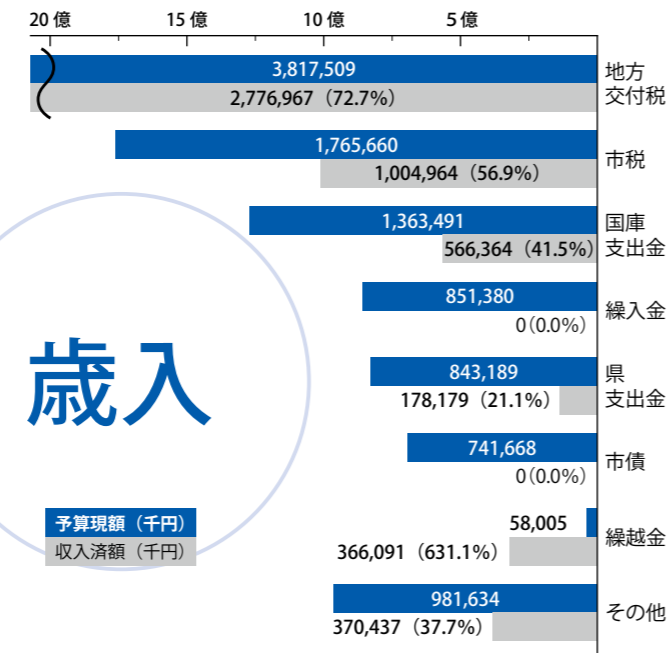
平成25年度のえびの市の一般会計予算額（平成25年9月30日現在）は、歳入・歳出それぞれ102億9861万8千円で、このほかに平成24年度からの予算の繰越が、1億2391万8千円あり、合計で104億2253万6千円となっています。  
この合計額に対して、平成25年9月30日現在の収入済額は、52億6300万2千円で、収入済率50・5%、支出済額は37億9439万円で支出済率36・4%となっています。



※グラフは、それぞれ平成24年度からの繰越予算を含めた額です。  
※歳出予算の「その他」は、議会費、労働費、商工費、消防費、災害復旧費などです。  
※歳入予算の「その他」は、地方譲与税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、諸収入などです。

【市債の状況】 [単位：千円]

区分	借入金残高	前年同期残高
一般会計	7,019,734	6,975,851



【特別会計の予算執行状況】 [単位：千円]

会計	歳入		歳出	
	予算額	収入済額	予算額	支出済額
国民健康保険特別会計	3,624,692	1,546,819	3,624,692	1,499,469
観光特別会計	30,479	15,245	30,479	16,560
介護保険	2,779,936	1,393,612	2,779,936	1,188,852
特別会計	22,616	10,132	22,616	9,664
後期高齢者医療特別会計	622,223	67,195	622,223	211,510
合計	7,079,946	3,033,003	7,079,946	2,926,055

※収入済額を上回る支出部分は、一時運用金（会計間のやりくり）で対応しています。

### 用語説明

- 一般会計**  
福祉や教育、公園や道路建設などの市の基本的な事業を行う会計です。市税や地方交付税などを主な財源としています。
- 特別会計**  
特定の収入を特定の支出に充てて事業を行う会計です。市では、国民健康保険、観光などがこれに該当します。
- 地方交付税**  
地方公共団体が等しくその行うべき事務を遂行できるように、一定の基準により国から交付されるお金です。
- 国庫支出金**  
国から地方自治体に交付される補助金や委託金などのことです。
- 市債**  
市がさまざまな事業を行うとき、長期にわたって借りるお金のことです。
- 公債費**  
市債を償還するための経費のことです。
- お問い合わせ先**  
市財政課財政係  
☎ 35 - 1111 (内線 381)

### 水道事業



- ◎水道業務量  
(平成25年4月1日～平成25年9月30日)  
給水戸数・・・8,636戸  
給水人口・・・18,910人  
上半期給水量・・・987,184 m<sup>3</sup>  
1日平均給水量・・・5,394 m<sup>3</sup>  
1人1日平均給水量・・・285.2ℓ  
普及率・・・94.6%
- ◎借入金残高 10億925万円
- お問い合わせ先：えびの市水道課経営管理係  
☎ 35 - 1111 (内線 291)

【事業収入に関する事項】 [単位：円]

区分	予算額	執行額		収入率 (%)
		上半期	累計	
水道事業収益	320,302,000	158,658,568	158,658,568	49.5
営業収益	318,194,000	158,300,027	158,300,027	49.7
営業外収益	2,105,000	328,486	328,486	15.6
特別利益	3,000	30,055	30,055	1001.8

収入の営業収益は水道料金、手数料、水道加入金など。営業外収益は、預金利息、雑収益など

【事業費用に関する事項】 [単位：円]

区分	予算額	執行額		執行率 (%)
		上半期	累計	
水道事業費用	315,392,000	134,912,559	134,912,559	42.8
営業費用	291,494,000	123,796,457	123,796,457	42.5
営業外費用	23,396,000	10,905,623	10,905,623	46.6
特別損失	2,000	210,479	210,479	10524.0
予備費	500,000	0	0	0.0

支出の営業費用は、浄水費、配水費、減価償却費など。営業外費用は、企業債の償還利息など

### 病院事業



- ◎病院業務量  
(平成25年4月1日～平成25年9月30日)  
病床数・・・50床  
入院患者数・・・延べ6,202人  
外来患者数・・・延べ17,775人  
入院1日平均・・・33.9人  
外来1日平均・・・142.2人
- ◎借入金残高 3,115万円
- お問い合わせ先：えびの市立病院  
☎ 33 - 1023

【事業収入に関する事項】 [単位：円]

区分	予算額	執行額		収入率 (%)
		上半期	累計	
病院事業収益	916,398,000	433,160,021	433,160,021	47.3
医業収益	828,208,000	368,384,737	368,384,737	44.5
医業外収益	88,189,000	64,775,284	64,775,284	73.5
特別利益	1,000	0	0	0.0

収入の医業収益は、入院収益・外来収益など。医業外収益は、一般会計補助金など。

【事業費用に関する事項】 [単位：円]

区分	予算額	執行額		執行率 (%)
		上半期	累計	
病院事業費用	980,448,000	417,651,066	417,651,066	42.6
医業費用	978,620,000	417,078,045	417,078,045	42.6
医業外費用	1,627,000	573,021	573,021	35.2
特別損失	1,000	0	0	0.0
予備費	200,000	0	0	0.0

支出の医業費用は、給与費、材料代経費等。医業外経費は、企業債の償還利息など。

# CIVIC NEWS

市政ニュース

## えびの市の市政発展に尽力 功績をたたえ市民表彰

平成25年度えびの市市民表彰式が11月3日、えびの市文化センターで行われました。今年度の受章者は、地方自治部門と産業経済部門で貢献されてきた4人です。

表彰式では、受章者に村岡市長から賞状と記念品が贈呈されました。村岡市長は「市の指導者として、模範として、えびの市の市政発展に一層の力添えをお願いします」と式辞を述べました。

受章者を代表して、山下力男さんが「表彰を機に、えびの市のために今後も努力していきます」と謝辞を述べました。

えびの市市民表彰制度は、昭和62年度に「市政功労者表彰」としてスタートしました。

平成25年度の市民表彰では、市民に公募を行い、候補者の中から表彰審議会の審査により、受章者・団体を決定したものです。

岡市企画課秘書係  
☎ 35-11111 内線302

### ○各部門表彰者

#### 地方自治部門



山下力男さん  
[えびの市小田・77歳]

【功績】自治会長として、前松原自治会活性化のために、地域の担い手として尽力され、住民自治の振興発展に寄与されている。平成13年度から平成24年度までえびの市自治公民館連絡協議会会長を務め、地域づくりのリーダーとして大きく貢献された。

#### 地方自治部門



(故) 鬼塚サヨさん  
[えびの市水流]

【功績】多数の自衛隊関係団体の役員として、市民への防衛意識の普及高揚に取り組まれた。えびの駐屯地の存続、第24普通科連隊の復元やえびの駐屯地の強化のための活動を積極的に行い、自衛隊と共存共栄のまちづくりのために大きく貢献された。

#### 産業経済部門



出水等さん  
[えびの市末永・80歳]

【功績】長年にわたり、農業委員として農業の発展と農業者の地位の向上に尽力された。この間、同委員会の役員を歴任され、地域のよき相談役として、農地の流動化や担い手への農地集積など、当市の基幹産業である農業の振興に大きく貢献された。

#### 産業経済部門



祭礼田岩吉さん  
[えびの市末永・82歳]

【功績】長年にわたり、農業委員として農地行政に携わり、会長を歴任するなど市の基幹産業である農業振興に寄与された。現在は、えびの市農業者年金受給者協議会会長と西諸県市郡農業者年金受給者連絡協議会会長として、農業者の福祉の向上に尽力されている。

## 宝くじ助成でコミュニティ活動備品を整備 地域の健全な発展を応援

財団法人自治総合センターの宝くじの助成を活用し、真幸地区運営協議会にグラウンドゴルフの道具一式などが整備されました。

同センターは、コミュニティ活動備品の整備などに対して助成を行い、地域社会の健全な発展などに寄与するための事業を行っています。

真幸地区運営協議会に整備されたのは、クラブ、ボール、ホールポスト、テント、プロジェクタ、スクリーンなどで



整備されたグラウンドゴルフ道具一式など



す。地域でのグラウンドゴルフ大会などで利用できます。道具等は、真幸地区コミュニティセンターに保管してあります。利用する場合は、事前に同センター(☎37-3221)までご連絡ください。

## 行政サービスの向上のために 市民目線で事業を評価

市では、行政組織内部での事業に市民目線での評価を加え検討する事務事業の外部評価を10月5日、市役所で実施しました。評価員は、公募で選ばれた市民や大学教授など6人です。

この外部評価は、「効率的・効果的な市民サービスの推進」、「市民へ説明する責任の確保」を目的としています。外部評価では、評価員が事前に抽出した市の優良牛保留報償事業など6事業が評価さ

れました。

体育協会運営補助金は、「見直しが必要」の評価が出されました。評価員からは、「協会の会員を増やすため、会費の無料化の検討と補助金の使

い方にもチェックを入れてもらいたい」などの意見が出されました。今回の外部評価の結果は、今後、事務事業の改革・改善に役立てていきます。評価結果については、市ホームページで閲覧できます。

### ○事務事業外部評価一覧

事業名	判定区分	担当課
優良牛保留報償事業	現行どおり	畜産農政課
観光PR広告事業	拡充が必要	観光商工課
道路維持(補修)事業	現行どおり	建設課
体育協会運営補助金	見直しが必要	社会教育課
地域活性化事業	現行どおり	市民協働課
ファミリーサポートセンター事業	見直しが必要	福祉事務所

結果については、市ホームページで閲覧できます

岡市企画課政策係 ☎ 35-1111 (内線 321)





電気工事組合青年部が電気整備点検  
プロの技でボランティア

10月19日、小林地区電気工事事業協同組合青年部の8人が、市社会福祉協議会と国際交流センターの電気整備点検ボランティアを行いました。えびの市、小林市、高原町の同組合は、昨年11月に一つになりました。ボランティアは、同組合の地域貢献の一貫として行われたものです。青年部員は、絶縁のチェックや簡易な修理を行いました。同組合の西理事長は、「火事などを未然に防げれば」と話していました。



秋季えびの観光祭  
秋のえびのを満喫

10月20日、21日、グリーンパークえびのを会場に秋季えびの観光祭が行われました。観光祭には、市内外から約7000人が来場しました。会場は、600万本のコスモスがちょうど見ごろ。来場者は、カヌー体験やフリーマーケット、キャラクターとの記念撮影などを楽しんでいました。宮崎市からの来場者は「コスモスがきれいですね。来年は、孫を連れて見に来ます」と話していました。

11月9日、道の駅えびのの駐車場で「えびの消防署消防フェア」が行われました。フェアには、幼稚園児や市民など約200人が参加しました。このフェアは、防火への意識を高めてもらおうと、えびの消防署

が秋季火災予防週間に合わせて行ったものです。参加者は、消火器などの使い方の説明を受け、実際に体験しました。えびの消防署の岡元署長は、「このフェアが防火意識の向上につながれば」と話していました。

えびの消防署「消防フェア」

## 防火への意識を高める



10月20日、国際交流センターをスタートし、えびの高原をゴールとする「霧島えびの高原ヒルクライム2013」が開催されました。自転車で登坂タイムを競う大会には、市内外から153人の選手が参加しました。参加者は、総距



霧島えびの高原ヒルクライム2013

## 自転車で急坂に挑む

離約21キロ、標高差約962メートルのコースに挑みました。速い人は、タイム計測された白鳥からえびの高原までを約40分で駆け上がっていました。白鳥地区の人は、応援旗を手づくりして選手を激励しました。



駐屯地でグラウンドゴルフ大会  
自衛隊員と市民が交流

10月20日、えびの駐屯地で「駐屯地司令・自衛隊後援会会長杯グラウンドゴルフ大会」が行われました。大会には、市民と自衛官、約500人が参加しました。この大会は、グラウンドゴルフを通じて市民と自衛隊との交流を深めようと、毎年行われているものです。参加者は、隊員とチームを組み16ホールを回りました。隊員には初心者もいましたが、ナイスショットの度に大きな拍手が送られていました。



宮崎県畜産共進会  
家畜の品質を競い合う

10月23日、26日、都城市の都城地域家畜市場で第57回宮崎県畜産共進会が行われました。市内の生産者がすばらしい成績を収めました。優等賞3席を取った坂元幸保さんは、「4年後の全国和牛能力共進会への出品を目指します」と話していました。「肉用種牛第2類」優等賞3席、坂元幸保さん（松原）「乳用種牛第4類」一等賞、川原澄広さん（上浦）「種馬」一等賞、東脇正さん（大明司）



### 仲間とできた最高の演技

「全国大会では、ミスがあつて悔しかったけど、仲間と全国で演技ができたことがうれしかったです」と話すのは上江中学校新体操部主将の黒田一馬さん（3年生）です。

上江中学校新体操部は、10月18日から20日に、東京都国立競技場代々木第一体育館で行われた第31回全日本ジュニア新体操選手権大会に出場。団体男子の部でチーム自己最高点の17・275点で9位と健闘しました。

ジュニア新体操大会への出場は、ほとんどがクラブチームです。学校の部活動として、大会に出場するのは、全国的にも珍しいそうです。

男子新体操の団体演技は、6人でいきます。演技時間は3分です。大会では、体だけを使つて行う徒手体操での振り付けや動きの組み合わせ、跳躍や回転を行うタンプリングの難度、演技自体の構成で評価されます。

柏木朋さん（3年生）は、「自分たちでできなかった全国大会入賞を先輩に果たしてもらいたいです」と夢を託します。

### あいつらでチームが一つに

上江中学校新体操部の部員は6人。持ち味はチームワークです。一人欠けても団体の部に出場できないという中、そのチームワーク

は築かれました。

チームがまとまるようになったのは、ある出来事がきっかけでした。橋口迅斗さん（3年生）は、「昨年の春ぐらいからこのメンバーで演技していますが、最初は、みんなの気持ちバラバラで思い通りの演技ができませんでした。演技以前にあいさつや勉強などをおろそかにしているのではないかと、主将を中心に仲間全員で話し合いました」

上江中学校新体操部は、毎日2時間ほど練習をしています。木牟禮諭さん（3年生）は、



## どこにも負けないチームワーク

「演技を部分に分けて、何回も繰り返す練習が一番きついです。でも仲間がいるから乗り切れます」

少子化が進む中、上江中学校新体操部も存続の危機に直面しています。主将の黒田さんは、「今年3年生が4人抜けます。団体の部に出場するためには、4人以上の人数が必要です。伝統ある上江中学校新体操部の団体演技が来年もできるのか、心配です」

### 届けたい感謝の気持ち

現在のチームでの演技は、11月30日に小林市民体育館で行われる新体操演技会が最後です。主将の黒田さんは「今の仲間との最後の舞台です。支えてくれた人への感謝と恩返し気持ちを含め、自分たちの力をすべて出した演技をしたいと思います。市民の皆さんもぜひ、見に来てください」



上江中新体操部(写真左から)市原康成さん、宮路涼慎さん、木牟禮諭さん、橋口迅斗さん、柏木朋さん、黒田一馬さん



上江中学校新体操部



今月紹介するのは、地域のボランティアの皆さんが作った「豚物」です。

豚汁は、豚肉のこくとうま味が野菜に溶け込んで、具も汁もおいしくいただけます。これからの季節、カラダが温まって栄養もバッチリとれます。

入れる具材に旬の野菜を使うと、その季節に合ったオリジナルの豚汁ができあがりま

す。料理のポイント、具の大きさをそろえ、火の通りにくい物から順に入れることです。出来上がった時に全部の具がちょうどよい煮え加減になります。食感を楽しむ場合は、加熱しすぎに注意してください。



豚肉のこくとうま味が野菜にも溶け込む一品

## 今月の一品 豚汁

Recipe レシピ

### 【材料】(3人分)

豚バラ肉(薄切り) 100g、ダイコン 100g、ニンジン 50g、ゴボウ 50g、サトイモ 2コ(150g)、コンニャク 1/3枚、ネギ 1/3~1/2本、だし カップ3~4、みそ 大さじ2、塩 適宜、サラダ油 適宜

### 【作り方】

①材料を切る。(ダイコン、ニンジンはいちょう切り、ゴボウはささがきにして水に浸す。サトイモは皮をむき、ぬめりを取る)  
②鍋に油を入れ熱し、豚肉を炒め、切った野菜を加え、さらに炒める。全体に油が回ったら、コンニャクを加え、サッと炒め合わせる。  
③②に水、だしを加え、煮立ったらアクを取り、フタをしてさらに煮る。みそを入れ、煮汁で溶きのばす。



【紹介者】上島ボランティアの皆さん



## 環霧島 探訪

今月からは、「ぐるっと霧島周遊列車」と題し、環霧島圏域の駅をリレー形式で紹介していきます。

### 【財部駅(やまびこ館)】

財部駅は、曾於市財部町北俣にあります。日豊本線上下では、鹿児島県内最初の駅になります。

財部駅は、昭和4年、国都東線(西都城〜財部間)の開通に伴い、開設されました。昭和62年3月27日の志布志線廃止まで、急行大隅が停車していました。

### ●駅舎

平成20年3月23日に三代目の駅舎「やまびこ館」が完成しました。



やまびこ館は、曾於市の産業や観光の情報発信と交通拠点となる多目的な機能をもつ木造平



財部駅舎

屋建ての施設です。駅舎内にはお食事処「桂庵」があります。料理を注文してみると、まず目を引くのはそのボリュームです。食べきれない場合は、テイクアウトもできます。

### ●駅と共に生きる

かつては、多くの人でにぎわっていた財部駅ですが、自家用車の普及と共に、利用者も減少しました。そんな財部駅に、もう一度にぎわいを取り戻そうと、約20年前から地元の有志による「財部駅前イベント」が毎年9月中旬に開催されています。

鹿児島県の玄関口財部駅はいつでも皆さんをお待ちしています。

曾於市役所企画課  
☎0986-76-8802

## 家庭教育学級通信

第2和光幼稚園の家庭教育学級は、児童数43人、学級生41人で構成しています。学級生を3グループに分け、班長さんを中心に、学習を企画運営しています。

活動は、全保護者に参加を呼びかけ、アットホームな雰囲気の中で行っています。

10月には、親業訓練講座を行い、心理学を応用したコミュニケーションのあり方を学びました。他にも、人権学習や保健学習を行いました。今後の計画は、クリスマスリース製作と視察研

修を予定しています。

私自身、何もかもが初めてで要領を得ないこともあります。園長先生をはじめ、諸先生のご指導と保護者の皆さんと力を合わせて、楽しい活動ができる事を楽しみにしています。家庭教育学級で学んだことを各家庭での子育てに生かしてもらえればと思っています。

残り少ない活動をより充実したものにできるように、周囲の皆さんと力を合わせて、進めていきたいと思ひます。

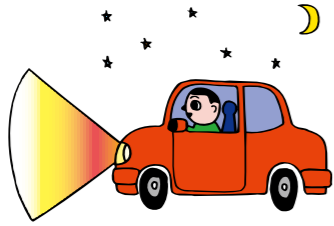


親育て講座「あいさつゲーム」



和光第2幼稚園家庭教育学級  
栗屋 恵さん

### 薄暮時の交通事故が多発



県内では、10月に入り、7件の交通事故が発生し、8人が亡くなりました。

内訳を見てみると対向車線へのはみ出しや路外免脱など「てげてげ運転」が原因と思われる交通事故や夕方から夜間にかけての交通事故が増加しています。

ドライバーは、前をよく見て運転に集中し、疲れや眠気を感じた時は、早めに休憩を取りましょう。また、夕方は早めにライトを点灯し、こまめにライトの切り替えを行いましょう。

歩行者は、道路を横断するときは、左右を十分に確認して横断し、早朝や夜間に外出するときは、明るい服装と反射材を着用しましょう。

10月の交通事故発生状況	人身	9件	本年累計	91件
	物件	27件	本年累計	260件

### 消防署人事異動のお知らせ



えびの署では、10月10日付けの人事異動で職員が変わりました。

**【着任】**

池上務、鳥集公則、富岡敬介、巢山貴博、足立拓也、笠掛誠、中窪良亮、西健太

**【離任】**

前原泰典、下原誠、徳重隆太、山北修平、田中航平

**○インフルエンザの予防を徹底しましょう**

インフルエンザ予防法をいくつか紹介します。  
・手洗い、うがいをしっかりと  
・部屋の換気をこまめに行う  
・バランスの良い食事、十分な睡眠をとる  
・予防接種をうける  
・マスクの着用 など

10月の活動状況 [えびの消防署管内]	火災	0件	年計	13件
	救急	76件	年計	745件

## まちづくり活動

ぶらいど21基金助成団体の活動紹介



満開の大河平つつじ

### 「大河平つつじ」を永遠に

おこびらつつじ保存会

毎年4月中旬、地区内に600株を越える大河平つつじが燃えるような赤紅の花を咲かせます。

私たち「おこびらつつじ保存会」は、この歴史ある地区のシンボル「大河平つつじ」を、改めて地区の財産・宝として保全・保護し管理育成することで、地域活性化を図ろうと発足しました。

「大河平つつじ」は、大河平小学校を中心に各家庭にあり、大事に守り育てられ、地区民の「心

の癒し」を育んでいます。地区では、これまでも除草やつる切りなど「大河平つつじ」の管理をしてきましたが、400年以上の老木で衰弱しているため、ぶらいど21助成金を活用して、自治会全世帯が保存会の会員となり、その保護・増殖活動を行いました。



おこびらつつじ保存会代表 木下幸夫さん

4月の「第3回おこびらつつじ祭り」でお披露目しました。今後「大河平つつじ」が将来的な観光資源となるように、地区民あげて未永く育成していきます。4月中旬には見事な花を咲かせます。ぜひ見学においでください。

## くらしのメモ



### 送りつけ商法に、気を付けて

これは、えびの市内の事例です。ある日、Aさんに代金引換で宅配便が届きました。娘が受け取りに出ると、宅配便の中身はカニでした。宅配業者から「料金は、一万二千円です」と言われたため、Aさんにカニを頼んだか確認すると、頼んでいませんでした。そこで娘は、宅配業者に返送を依頼し、受け取りませんでした。

カニに限らず最近では健康食品など注文していないのに突然商品を送りつけてくる業者がいます。このような場合、いったんお金を払ってしまうと代金を取り戻すことはとても難しくなります。心当たりの無い宅配便や、勝手に送りつけられたものは安易に受け取らないようにしましょう。受け取りを拒否しても宅配業者に迷惑がかかることはありません。受け取りを拒否したのに業者が再度送りつけてくる可能性もあります。その場合は、業者名や住所、

連絡先などを控えておいて「契約は絶対にしない」旨の文書を郵送すると効果的です。詳しい記載方法は、県消費生活センター都城支所(0986-24-0999)にお尋ねください。「家族の誰かが注文したのだから」と勘違いして、代金を支払ってしまうケースも多々あります。特に代金引換の場合は確認してから払いましょう。繰り返しますが、いったん支払ってしまうと代金を取り戻すことは非常に難しいです。文：くらしのアドバイザー 中堀ふじ子

## いきいき!健康



### 赤ちゃんのために「風しんワクチン」

昨年度から今年度にかけて、20代〜40代の男性を中心に全国的に風しんが流行しました。今回の流行で先天性風しん症候群(妊娠中の女性が風しんにかかると、生まれてくる赤ちゃんの耳が聞こえにくくなる、心臓に奇形が生じる、目が見えにくくなるなどの障がいが出る場合があること)の赤ちゃんが全国で20人近く生まれ、今後増える予想です。流行の背景として、特に、昭和

54年4月2日〜平成7年4月1日生まれの男女は、定期予防接種率が低く、また、昭和54年以前に生まれた男性は、子どものころに予防接種を受ける機会がありませんでした。その世代が、子育て世代となり、風しんに対する抗体が低く、風しんにかかってしまったことが原因としてあげられます。今回の大流行はだいたいぶ落ち着いてきましたが、日本ではおよそ5年ごとに流行を繰り返しています。

今回、市では、妊婦と赤ちゃんの風しん感染を予防するため、10月1日から平成26年3月31日まで風しんウイルス抗体検査と抗体検査が陰性の人への麻しん風しん混合(MR)ワクチン任意予防接種費用の一部助成を開始しました。現在、妊娠中の女性の夫・パートナー、今後、妊娠を希望している女性とその夫・パートナーはこの機会にぜひ、風しんウイルス抗体検査とMRワクチン予防接種を受けてください。文：徳丸保健師

# BOOKS

## おすすめの1冊



わたしをみつけて

中脇 初枝／著  
(株式会社ゴブラ社)

**准** 看護師の主人公は、生後間もなく産婦人科医院の玄関に捨てられ、施設で育ちました。有能な准看護師として働く彼女だが、問題のある医師には異議は唱えない。なぜなら、やっと得た居場所を失いたくないから。著者は、絵本や童話も執筆。坪田譲治文学賞などを受賞。今作品では、医療現場を鋭く切り込んでいます。

**【最近入ったおすすめ本】**

- 「ずっと！おしゃれ上手」 西村 玲子 著 メディアファクトリー
- 「お伊勢ものがたり」 梶よう子 著 集英社
- 「じぶんのための子守歌」 工藤 直子 著 PHP研究所
- 「庭木の剪定 基本とコツ」 内田 均監修 家の光協会
- 「鏡の花」 道尾 秀介 著 集英社



からすのそばやさん

かこさとし／作・絵  
(偕成社)

**あ** る日のこと、そば畑を通りかかり、そばの作り方を教えてもらったカラスのおモチちゃん。おいしさのあまりそば屋を開店しました。変わったそばの注文で、お店はたちまち大繁盛。そのうち、うどん、ラーメンなどが食べたいという注文を聞き、作り始めたら毎日が忙し。おモチちゃんが次に受けた注文とはいったい何だったのでしょうか。

### ◎イベント ちょこっと講座『門松づくり』

- とき=12月22日(日)
- 時間=13:30～
- 会場=図書館学習室
- 定員=20人(無料)
- ※材料の都合上、申し込みをお願いします。



### クリスマスおはなし会

- 日時=12月14日(土) 10:30～11:30
- 場所=図書館学習室
- 対象=0歳～大人(無料)
- ※サンタさんがきます。プレゼントもあります。

### ◎12月のスケジュール

月間行事	年末休館	12月28日(土)～1月4日(日)
2月	図書館休館日	
4日	水	移動図書館巡回② 13:20～15:05
6日	金	移動図書館巡回③ 13:20～15:35
7日	土	おはなし会 10:30～11:30
9日	月	図書館休館日
11日	水	移動図書館巡回① 14:10～15:35
14日	土	クリスマスおはなし会 10:30～11:30
16日	月	図書館休館日
18日	水	図書館休館日(館内整理日)
		ブックスタート(1歳児に絵本配布)
		移動図書館巡回② 13:20～15:05
19日	木	ドリームカー(子育て支援センター) 10:30～12:00
20日	金	喫茶「ふら～っと」営業 9:45～11:00
		移動図書館巡回③ 13:20～15:35
21日	土	おはなし会 10:30～11:30
22日	日	ちょこっと講座「門松づくり」 13:30～
24日	火	図書館休館日
28日	土	年末休館(～1月4日まで)

※おはなし会:乳幼児10:30～11:00、4歳以上11:00～11:30  
 ※移動図書館巡回  
 ①飯野駅前地区体育館→飯野出張所  
 ②岡元小学校→市立病院→さくら苑  
 ③飯野地区公民館→警察署官舎→老人福祉センター

## えびの市民図書館

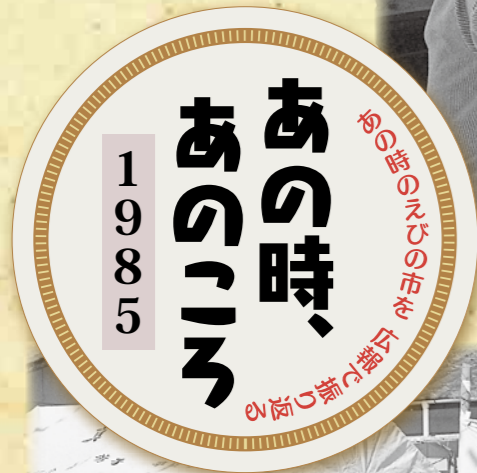
☎35-0242 <http://www.e-tosho.com/ebino/index.html>

■開館時間 ■ 火曜日～土曜日/午前9時～午後7時 日曜日・祝日/午前9時～午後5時  
 ■休館日 ■ 毎週月曜日(祝日法に定める休日と重なった場合はその翌日)



### 収穫祭「あいがとな祭り」

11月3日、じよいふるたんぼえびの秋の収穫祭「あいがとな祭り」が行われました。会場に訪れた約4千人は、大イモ煮大会などのイベントを楽しんでいました。イベントの最後には、袋に1キロの米を入れて誤差が300g以内ならその米がもらえる米の勘当てクイズが行われました。(平成3年11月号掲載)



### 第8回真幸園運動会

10月18日、市立老人ホーム真幸園自治会の運動会が行われました。運動会には、真幸保育所の園児64人も参加。玉入れ遊戯など行いました。お昼には、同園の職員が仮装行列を行い、会場を盛り上げていました。(平成3年11月号掲載)



### 県高等学校総合文化祭小林・えびの大会

10月16日～23日、小林・えびの地区で宮崎県高等学校総合文化祭が行われました。市文化センターは、音楽演劇の部の会場で、吹奏楽やコーラス、演劇の公演が行われました。(平成3年11月号掲載)

このコーナーは、これまでの広報紙の記事を一部抜粋、修正して掲載しています

## 心の一首一句 あなたもつくってみませんか。

### 短歌

秋づきて朝の冷たさ身に泌みる  
衣も重ねて秋深みゆく

下浦 亀澤尚子  
山の頂から里野へと赤や黄に染め上げてゆく紅葉。美しい風景の後に落葉、そして、冬の訪れ…。一抹の寂しさもはらんだ晩秋の日々の中で作者は秋から冬への身仕度をしつつ、みづからの過ぎ行きに思いを馳(は)せるのである。情緒の溢れた詠である。(評竹下妙子)

### 俳句

狛犬に留守を預けて神の旅  
白鳥 松山夢真  
諸国の神々様の出雲への旅立ちを神の旅という。(自註)

### 詩

ふるさと  
見上げる空は高く青く  
霧島山はどっしりと裾野を引いて構えている  
夕日がゆつくり霧島山に紅を引く  
ゆつくりゆつくり紅を引く  
山の端が金色に輝いて  
やがて静かに闇の中へと溶け込んで行く  
茜色に染まる東の空は秋独特のうろこ雲  
その雲がやがて白一色に変わる頃  
山裾は秋風の波が揺れていた  
金色の稲穂の波が揺れていた  
山も空も大地も  
秋一色のふるさは  
豊かさに輝き落ち着きがあった

(短歌) 竹下妙子さん ☎ 37 - 3056 (俳句) 松山良文さん ☎ 33 - 4904 (詩) ポエム同好会(石井高子さん) ☎ 33 - 0010まで

## えびの市観光審議会委員を公募します

市では、市民の意見を観光行政に幅広く生かしてもらうため、観光審議会の委員を募集します。

【応募資格】えびの市に居住する20歳以上の者で、市の観光について関心と意欲を持っている人

【応募期間】11月21日～11月29日

【応募方法】申込書に必要事項を記入の上、市観光商工課観光係まで郵送またはメールで提出

【郵送先】〒889-4292

えびの市大字栗下1292番地

えびの市役所 観光商工課 観光係宛

【メールアドレス】kankoshoko@city.ebino.lg.jp

※申込書は、市観光商工課、飯野、真幸出張所にあります。市ホームページからもダウンロードもできます。

【委員の選考】申込書の記入事項をもとに選考委員会が決定

【活動内容】委員は、えびの市の観光振興に資するための課題や解決策について議論を行い、その将来への方向性を示します。

問市観光商工課観光係

☎35-1111 (内線331)

## ガイドとさるく加久藤カルデラ北壁の史跡バスツアー

えびのガイドクラブでは、霧島ジオパーク推進事業「ガイドとさるく加久藤カルデラ北壁の史跡バスツアー」を市と共催して開催します。

【日時】12月15日(日) ※小雨決行、荒天中止

【時間】午前9時00分～午後12時30分

【コース】道の駅えびの集合→球磨口番所→雲海橋展望

台→彦山板碑→徳満城→西川北菅原神社→水流菅原神社→道の駅えびの到着

【参加料】200円(資料・保険代含む)

【定員】20人(先着順)

【申込締切日】12月10日(火)

【申込方法】電話もしくは、ファックス、電子メールに、住所・氏名・電話番号・生年月日を明記の上、以下まで申し込みください。

問市企画課政策係

☎35-1111 (内線322)

FAX : 35-0401

Eメール kikaku@city.ebino.lg.jp

## 12月4日～10日は人権週間です

第65回人権週間が12月4日から始まります。

人権週間の由来は、1948年12月10日、パリで行われた第3回国際連合総会で世界人権宣言が採択され、国際連合は、この日を記念して毎年12月10日を「人権デー」と定め、全ての加盟国に対し人権思想の普及高揚に努めるように呼びかけたのが始まりです。

わが国でも、毎年12月4日～10日までの1週間を「人権週間」として、広く国民に人権思想の普及と人権意識の高揚を呼びかけるためさまざまな行事を実施しています。法務省と全国人権擁護委員連合会では、この週間で、啓発活動重点目標を「みんなで築こう人権の世紀～考えよう相手の気持ち育てよう思いやりの心～」と設定し、人権思想の普及のための啓発活動を展開しています。

○こんなときは人権擁護委員にご相談ください

人権の侵害や侵害されるおそれがあるとき、いじめ、体罰、土地建物、金銭の貸し借り、そのほか家庭内の問題などでお困りの人は、お近くの人権擁護委員、または

宮崎地方法務局都城支局、全国共通人権相談ナビダイヤルへお気軽にご相談ください。相談は無料で秘密は固く守られます。

宮崎地方法務局都城支局 ☎0986-22-0490

全国共通人権相談ナビダイヤル ☎0570-003-110

○人権相談所の開設

[宮崎地方法務局都城支局人権相談所]

【日時】土・日、祝日年末年始を除く月曜日～金曜日 午前10時～午後3時

【場所】宮崎地方法務局都城支局(都城市上町2街区11号)

☎0986-22-0490

[えびの市人権相談所]

【日時】毎月第1水曜日 午前10時～午後3時

【場所】市役所2階2-1会議室

【相談日】12月4日、1月8日、2月5日、3月5日

問市総務課人権啓発室

☎35-1111 (内線350)

## シラスウナギの特別採捕を行います

平成25年12月1日から平成26年3月15日までの期間、県内各河川で、増養殖用種苗の供給を目的とした、シラスウナギ(ウナギの稚魚)の特別採捕が行われます。

採捕できるのは、漁協の組合員等で知事の許可を受けた者です。許可を受けていない者が採捕すると、犯罪行為として処罰されます。

また、「うなぎ稚魚の取扱いに関する条例」に基づく県の登録を受けずに、全長25cm以下のうなぎ稚魚の所持・売買等を行った場合も同様に処罰されますのでご注意ください。

問宮崎県農政水産部水産政策課漁業・資源管理室

☎0985-26-7146

## 定住自立圏共生ビジョン連携事業「ところどころがつながれば…」

人権啓発、男女共同参画の意識向上を図るため、えびの市と小林市が合同でイベントを開催します。

【開催日】12月14日(土)

【時間】開場:午後1時～ 開会:午後1時30分～

【場所】小林市文化会館 大ホール

【内容】[ミニコンサート]演奏者:風空さん(ピアノ)えびの市在住

[講演会]演題:「性同一性しょうがいの子どもの支えて生きる」講師:石川直子さん・宗さん(鹿児島市)(NPO法人性同一性障害まりあ会の代表・当事者)

【入場料】無料

問市総務課人権啓発室

☎35-1111 (内線350)

問小林市役所市民課

☎23-1141

## おわびと訂正

10月号、「共に未来を築く、二期目のスタートにあたって」の市長プロフィールで「平成21年10月12日～平成25年10月11日えびの市長(1期目)、平成25年10月12日～現在に至る」を「平成21年10月12日～平成25年10月12日えびの市長(1期目)、平成25年10月13日～現在に至る」としておわびして訂正します。

問市企画課情報係

☎35-1111 (内線451)



### ◎今月の表紙

むらづくりの最高賞「天皇杯」を受賞した田代地区

### 今月の納税

国民健康保険税 第5期  
後期高齢者医療保険料 第5期

12月2日(月)までに納めましょう。

人口 20,408人(-7人)

男性/ 9,547人(+7人) 女性/ 10,861人(-14人)

転入/ 52人 転出/ 43人

出生/ 15人 死亡/ 31人

世帯数 9,001世帯(-5世帯)

(平成25年11月1日現在)

上 江中学校新体操部の取材に行ってきました。体育館に入って早々、部員の大きな声でのあいさつにびっくりしました。みんな、恥ずかしがり屋なのか、最初は、選手の本音を聞くのに苦労しましたが、取材を進めていくと、次第に笑顔がこぼれ、新体操への熱い思いを聞くことができました。(川野)

Editor's



写真：韓国岳周辺（平成24年12月6日 撮影：久保勉氏）

## 韓国岳の樹氷

冬の贈り物、「樹氷」。木の枝が白い氷に包まれ、砂糖菓子やガラス細工のように韓国岳を飾る。

**紅葉**は山から里へと下り、えびの高原は冬枯れの木々に囲まれ、静寂を取り戻しつつあります。明け方の気温が0℃を下回るようになり、寒さが身にこたえます。

ひととき冷え込み、韓国岳に雲がかかった翌朝、冬からの贈り物を見ることが出来ます。きらきらと輝く樹氷です。木の枝が白い氷に包まれ、砂糖菓子やガラス細工のように韓国岳を飾っています。青空に映える美しさは、冬の花や山のサンゴに例えられることもあります。霧島山の最高峰韓国岳は、連山の北西に位置しており、冬の季節風により、冬の間しばしば樹氷や積雪を見ることが出来ます。韓国岳の樹氷を見に行くには準備が必要です。路面の状況によっては、タイヤチェーンを準備。手袋や帽子、防寒着などはもちろん、凍った山道を歩くためのアイゼン（靴につける登山用の爪）が必要な日もあります。

やっと登っても、樹氷は日に当たるとはかなく溶けてしまいます。だからこそ、樹氷は、人の心をひきつけるのかもしれない。  
 (文／えびのエコミュージアムセンター)

### 樹氷

樹氷は雲の中の過冷却水滴（0℃になっても凍らずにいる水）が、木の枝などにぶつかって凍り付いてできる。風がある場合には風上に向かって成長する。